

真実を伝える紙
組合機関

か い な

JMITU(日本金属製造
情報通信労働組合)
日本アイビーエム支部

東京都港区赤坂2丁目20の6
川瀬ビル5F 〒107-0052
TEL: 03-3583-9037
FAX: 03-5562-0853

定価 月 500円

IGAS (総務別会社) 解散 社員サービス大幅低下の危機

1999年に総務部門を分社化したIGAS(インテグレート・ゼネラル・アドミニストレーション・サービス株式会社)は7年の日本IBMとのアウトソーシング契約が切れ、契約更改もできず、その結果事業継続が難しくなったため6月末をもって解散することが明らかになりました。これまでに様々な部門が子会社化されてきましたが、IGASの場合は20年で解散させられる運命となりました。

総務部門の経緯

下表は総務部門がIGASとして子会社化されたから今年解散となるまでの経緯を簡単にまとめました。1999年の最初は100%子会社

総務部門のこれまでの経緯

- 1999— IGAS株式会社設立 (日本IBM 100%子会社)
- 2012— 日本IBMが90%の株式をJLL株式会社へ売却
総務業務に関する7年間のアウトソーシング契約を締結
- 2015— 日本IBMがIGAS株全株を売却
JLLの100%子会社に
- 2019— 日本IBMがIGASと再契約せず、6月末で解散。

ですが、2012年に日本IBMはJLLに90%の株式を売却。やがて2015年には日本IBMとは一切資本関係の無い会社になりました。そして今回のアウトソーシング契約更改では受注できない結果となりました。

見せしめ出向事件

1999年の子会社化の際には労働争議も起こりました。日本IBMは55人以上の人に対し、労働条件が大幅に低下するIGAS社への転籍を強要。それでも転籍に応じない人に対して、会社はいやがらせで孫請け会社へ出向させ、郵便物の集配、隔離された地下室での伝票入力作業など今までの能力を一切無視した業務をさせました。

社員サービスの低下

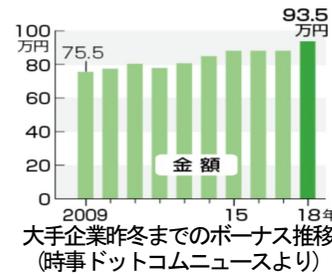
CBRE社との契約はわずかに1年半とのことですが、なぜ総務サービスがたった1年半で契約するのかが疑問が残ります。また、IGAS社よりも少ない人員でカバーすることが予想されるため、無人の事業所が増えることで、サービス低下が懸念されます。

夏季賞与一次回答

組合推定平均83万円 昨年下回る1.93ヶ月

6月10日の支給日を控え、夏季賞与一次回答が出ました。ここに組合推定内容をお知らせします。われわれもはや日本I

個人業績率平均68%



大手企業水準に遠くバンド7以下の平均は推定83万円。昨年よりも6千円低い金額です。月数では昨年の1.94ヶ月を下回る1.93ヶ月でした。

日本IBMボーナスの計算式

支給額 = (ベース金額 + 業績査定額) ÷ 2

ここで、
 ベース金額 = 賞与基準額 - RSの6%
 業績査定額 = RSの6% x 個人業績率 x 会社業績達成度

なお、RSとはリファレンス・サラリー (年収相当額)
 (年収相当額 = 月給 x 12 + 賞与基準額)

日本IBMのボーナスは上図のような計算式で計算されます。ここで、賞与基準額は個人ごとに設定されます。今年の個人業績率平均は68%で、昨年と同じでした。しかし、社員は会社の指示で働いているわけですから本来は100%に近い平均値でなければおかしいと言えます。

損益計算書の要旨

(単位: 億円)	2016年末 (H28年)	2017年末 (H29年)	2018年末 (H30年)
売上高	8,875	8,953	9,053
売上原価	6,929	7,060	7,220
売上総利益	1,945	1,892	1,833
販売費および一般管理費	1,025	1,032	989
営業利益	920	860	844
営業外損益	△51	486	109
営業外費用		28	15
経常利益	868	1,318	938
特別損益	1,127	51	△20
税引前当期純利益	1,996	1,369	917
法人税、住民税および事業税	231	300	267
法人税等調整額	46	△7	11
当期純利益	1,717	1,076	638

会社業績達成度70%
左表は日本IBMの直近3年間の損益計算書の要旨をまとめたものです。2018年度の売上高は伸びており、経常利益を

見るだけで、業績内容は昨年度のほうが明らかに良くなっています。それにもかかわらず、今年の会社業績達成度は70%で、昨年の76%よりも下がっています。



7年ぶりの日
本人社長に期待
している社員も
多いと思う。タ
ウンミーティン
グでの「家族・

友人から良い会社だねと言われるようになりたい」というスピーチを待っていた社員も多いことだろう。▼日本で良い会社と言われるためには、まず社員を大事にすることが必要だ。直ちに取引組んでほしいのはパワハラ3点セットの撲滅である。今まさに猛威をふるっているパワハラPIPは直ちに中止することを決断し、パワハラ低評価については見直しを指示してほしい。▼被害者が3千名以上にもなると推定されているパワハラ賃下げについても、賃金が戻った人は裁判で争ったほんのわずかな人にすぎない。▼裏表の無い会社になり、「お客様とともに」「社会とともに」「仲間とともに」というスローガンが絵にかいた餅にならないことを祈る。

組合結成60周年 不屈の伝統を継承



5月25日、新宿のAGORAにて、組合結成60周年記念祝賀会を開催しました。IBM争議の弁護士やJMITU関係者を来賓としてお迎えし、全国からOB組合員が集まり、100名が出席しました。

冒頭のあいさつで大岡支部委員長は、「こうして60周年を迎えられたのもみなさまのあたたかいご支援があったからです」と感謝の気持ちを述べ、新たなパワーハラスメント裁判勝利に向けた決意を表明しました。

来賓や歴代委員長からお祝いの言葉とこれまでの不屈のたたかいの話があり、その後、写真で60年の歴史を振り返りました。

最後に参加者全員で「団結がんばろう」で締めくくり、新たなスタートを確認した素晴らしい祝賀会となりました。

組合結成を振り返る

1959年5月12日、従業員労働組合を結成し、23日に「第1回日本IBM労働組合大会」を開催しました。当時は、就業規則なし、ボーナスなしといういい加減な会社でした。このような労働条件を改善したいと従業員が立ち上がりました。

常にも先頭に立ち、従業員に寄り添う60年

ここからIBM支部の不屈の60年の歴史が始まります。労働条件や従業員の権利を奪おうとする



1959年5月23日第1回日本IBM労働組合大会(300人集結)

会社と、それを守る労働組合との間で、ほぼ途切れることのないたたかいがありました。裁判や労働委員会の場で労働問題を取り上げ、新しい判例や命令を引きだす成果を上げてきました。そこには、常に先頭に立ち、従業員に寄り添って、労働者としての誇りを堅持し、将来への展望を切り開く組合員の熱い思いがありました。

**伝統を継承し
新たなスタート**

執行部の顔触れが変わっても、たたかう労働組合の伝統は継承され続けています。結成60年という節目を迎えた今も、労働者の権利を守るためのたたかいは続いています。組合は今後も従業員の先頭に立ち、その要求に寄り添い、働きやすい職場を作っていきます。

組合結成60周年に

寄せられたメッセージ

組合結成60周年に寄せられたメッセージをご紹介します。

今後のさらなる発展を祈念します！
(弁護士 水口 洋介)

支部60年のうち40年以上のつき合いの間一貫して労働者の生活・権利擁護の闘いに敬意を表します。フォーエバー
(弁護士 岡田 尚)

すこいですね60周年まさに巨人IBM資本の労務政策に立ち向かい労働者の雇用と権利を守ってきた歴史です。
(JMITU生熊 茂実)

労働者の権利の砦として輝き続けることを願っています。
(JMITU小泉 隆一)

私たちの権利の先頭に立ち活動していることに

に敬意を表します。
(JMITU澤本 国秋)

これからも、労働者の権利と生活、労働条件の向上を守り、発展させるためにがんばりましょう。
(JMITU有馬 晃浩)

労働者の権利をまもり、働きやすい職場を目指して共にがんばりましょう。
(JMITU川田 泰志)

以下、OB組合員から

- ・「かいな」で現役の皆さんが頑張っていることに声援の拍手を送ります。
- ・歴史を振り返らせてくれた組合員のみなさんとそれを支えた皆さんに敬意を表します。
- ・共に闘い、喜びや怒りをわかち合った仲間達と再会できるのをすごく楽しみにしています。
- ・伝統が今日まで続いて

きたことに大変うれしく思います。

- ・厳しい労働争議に勝利して歩んだ60年共に喜びたいと思います。
- ・振り返っても長かったけれど、将来もまだまだ長いですね。
- ・この間36年も組合員だったとは感慨深いです。
- ・解雇、減額訴訟等、全面勝利おめでとうござい

・昨年、ロックアウト解雇闘争に勝利して、今年組合結成60周年、本当におめでとうござい

- ・永遠に労働者に信頼される組合であることを願います。ガンバって下さい。
- ・組合のリーダーとして今後の活躍と発展を祈念しています。
- ・在職時の組合活動の楽しかったこと、つらかったこと

たことか思い出されます。

- ・労働運動に厳しい状況の中で頑張っておられる現役組合員の皆様に頭の下る思いです。
- ・組合員として41年余りよき仲間と出会い、生き方を学びました。
- ・みなさんのたたかいに敬意をもっています。
- ・IBM労組、還暦オメデトウ！ガンバロー！
- ・数々の争議に勝利、皆様の決断力に敬意を表します。

・この様に60年も続く組合は少なくなっている中、とても素晴らしい。現役時代は、IBMでの争議・組合活動がいろいろもありましたが、その間いが60才の定年までIBMで働くことができた最大の理由だったとつくづく感じています。

- ・60年、感慨深いものがあります。私はそのうち38年間を組合員で過ごしました。色々ありました。
- ・労働者に逆風の吹き荒れる今の社会情勢の中で奮闘されている皆様に敬

組合なんでも相談窓口			
事業所名	職場名	氏名	電話番号
本社	TSDL. ISEL・System技術	大岡 義久	712-5175
本社	GTS. ビジネスオペレーションズ	杉野 憲作	205-6550
大宮西	TSOL. 東第二TS. 第四技術部	佐久間康晴	209-8019
名古屋	GTS. 中部第二SOLサービス	板倉 浩	205-2205
大阪	GFS. 西日本グリーンファシリティSVC	山本 茂秋	505-5420
大阪	GTS. TSS. Sol&DeIPRJ推進	河本 公彦	205-5204
事務所連絡先	TEL 03-3583-9037(月-金 13-16時) FAX 03-5562-0853 メール kumiai@jmitu-ibm.org http://www.jmitu-ibm.org/		
注)	上記窓口は事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ		
法律相談	労働問題・民事一般相談受付(要予約)		
東京法律事務所	弁護士 水口洋介、今泉義章、本田伊孝 http://tokyolaw.gr.jp/ 東京都新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル TEL 03-3355-0611(代)		
旬報法律事務所	弁護士 大熊政一、山内一浩、並木陽介、細永貴子 http://junpo.org/ 東京都千代田区有楽町1-6-8松井ビル 受付7F TEL 03-3380-5311(代)		
岡田尚法律事務所	弁護士 岡田 尚 横浜市中区太田町1-10 NGS太田町ビル5階 TEL 045-222-7577		
ほづみ法律事務所	弁護士 穂積匡史 http://hozumi-shinyuri.jp/ TEL 044-959-3550 川崎市麻生区上麻生1-6-1 かわしん新百合ヶ丘ビル305号		